

南海本線玉出一大和川間連続立体交差化事業 《第1期工事》



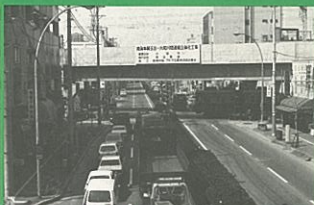
玉出一粉浜間



住吉公園駅



玉出3号踏切道



住吉公園2-1号踏切道



計画決定/昭和47年1月(萩ノ茶屋・大和川間5,460m)
 事業認可/昭和47年3月24日
 起工/昭和47年10月
 高架完成/昭和55年6月
 全工事完成/昭和62年3月(目標)

総事業費/309.2億円

都市側	248.1 (80.2%)
鉄道側	61.1 (19.8%)

- 粉浜駅、住吉公園駅、住ノ江駅、住ノ江車庫を高架上に建設
- プラットフォームは各駅とも2面、幅員は4～8m、長さは当初135m(6両用)、全工事完成時は180～220m(8～10両用)となる
- 住ノ江車庫の収容力は64両、全工事完成時は150両収容、広さ33,000㎡となる
- 住環境保全のために幅員6mの付属街路を設ける

工事は従来の複々線(4線)のうち、両外側線を一時休止し、その部分に高架橋を施工(第1期工事)し、営業中の地上2線を高架線に移したあと、中央部に高架橋を作って(第2期工事)全体の工事を完了する。

大阪市では都市機能の有効な発輝と踏切事故防止等交通安全対策のため、道路と鉄道との立体交差化事業を進めています。このうちの一つ、南海本線玉出一大和川間(3,376m)の第1期工事が完成、4月10日初発から上下線とも新高架線に切り替えました。

区間内には13カ所の踏切がありましたが、この工事で12カ所が立体化され(大和川堤防上1カ所工事継続中)、都心部幹線道路の交通停滞が解消するほか、列車の運転保安も向上し、また周辺地域の発展にも大きく寄与することになります。

このあと引き続き第2期工事に着手しますが、これまで同様皆さまのご理解ご協力をお願いいたします。

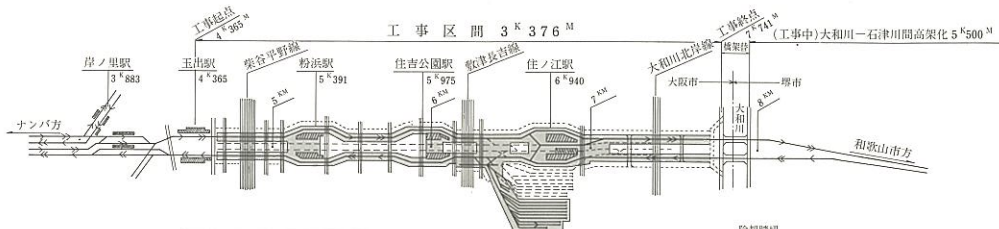
事業主体

大阪市

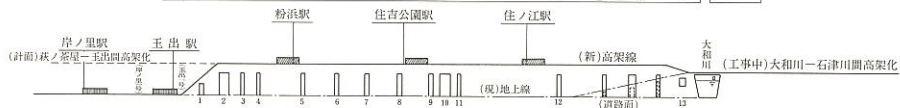
施工主体

南海電鉄

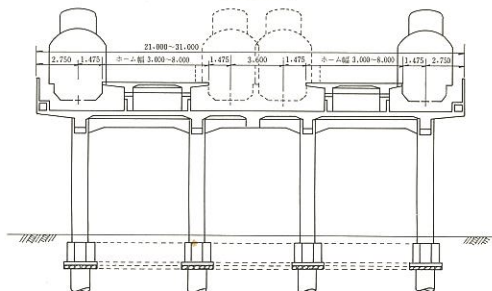
南海本線玉出一大和川間連続立体化工事



線路	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	改	*	工事部	除却箇切	
名	三好	三好	四号	五号	粉浜	二号	二号	二号	二号	三号	三号	住ノ江	住ノ江地上	手洗川橋梁	常島村橋梁	住ノ江	今除却箇12
称	三好	三好	四号	五号	粉浜	二号	二号	二号	二号	三号	三号	住ノ江	住ノ江地上	手洗川橋梁	常島村橋梁	住ノ江	工事中1
除却箇切																	計 13



駅部



中間部

